オワタ式の異世界冒険記

時の雫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オワタ式の異世界冒険記

【Nコード】

N1949Q

【作者名】

時の雫

【あらすじ】

突然現れた渦に巻き込まれて異世界トリップした主人公。
しかしドラゴンに炎を吐かれて呆気なく死んでしまう・・・
何度も何度も死にながらも頑張っっていく物語です。

いきなりトリップ(前書き)

初投稿で初小説です。

誤字などがたくさんあると思いますがよろしくお願いいたします。

いきなりトリップ

学校から帰る途中で、突然現れた渦に巻き込まれた。そして異世界に送られてしまった。

ここまでではよくある話だと、加賀真也は思った。

普通はここから神だの親切な人などに会って何かしら教えて貰えるのが異世界トリップの常識であると真也は考えていた。しかしそんなに甘くない。

「俺、何かした？」

彼の目線の先には鱗が黒く輝いているドラゴンがいかにも怒っている様な雰囲気漂わしていた。

いきなり死亡フラグが立ったみたいだ。

死す

黒く輝くドラゴンは鋭く、真也を睨み付けている。

一方、真也は動けずにいた。完全にドラゴンの威圧感にやられてしまっていた。しかし、真也は意外と冷静だった。自分が異世界にトリップした事を、理解しておりここをどう乗りきるか考えていた。「よしっ！」と小さく呟くと、少し緊張しながら話しかけた。

「あの、すみません」

真也が話しかけるとドラゴンは長い首を持ち上げてあくびをするように、人が一人丸飲み出来そうな口を開いた。

「話し分かります？」と言うと、口をカチカチとさせた。やった通じた！と真也は喜んでいると、ドラゴンの方から熱い熱気が漂ってきた。ドラゴンは息を大きく吸い込んでまた、口をカチカチさせた。

「えっ」と真也が呟いた瞬間、ドラゴンの口から巨大な炎の塊が飛んできた。

これ、俗に言うブレスじゃね。と思った矢先、真也の体に直撃した。真也はわずか一分で死んでしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1949q/>

オワタ式の異世界冒険記

2011年1月18日22時03分発行